

CODE-STAT™ 11

DATA REVIEW SOFTWARE

製品情報

製品番号	11600-000030
製品名	CODE-STATデータレビューソフトウェア 11

システム推奨環境

プロセッサ	推奨:Pentium IV 3.0 GHz 相当 最低:Pentium IV 2.4 GHz 相当以上
OS <small>※最新のMicrosoftアップデートが行われていること</small>	Windows 7 Service Pack 1 (32-bit 又は 64-bit) Windows 10 (64-bit) Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 (64-bit) Windows Server 2012 R2 (64-bit)
メモリ	推奨:4GB 以上 64-bit のOS 使用時:最少 2GB 32-bit のOS 使用時:最少 1GB
ハードディスク	最少 2GBの空き容量
画面解像度	最少 1024 × 768 ピクセル

CODE-STAT™ 11

DATA REVIEW SOFTWARE



CODE-STAT™ 11

IMPROVE CARE WITH CODE-STAT DATA REVIEW SOFTWARE.

CODE-STAT11™はデータを基にした救命処置の質の改善を支援する事を目的として生まれたソフトウェアです。

ブリーフィングとデブリーフィング

活動前の簡潔な指示、状況説明(ブリーフィング)と、活動が終わった後の反省/報告会(デブリーフィング)は、救急蘇生活動に於いて重要な要素です。とりわけ、データに基づいたデブリーフィングの実施は、蘇生活動の質の向上に欠かせない知識の整理や技術の習得に繋がるものと考えられています。

データに基づいて、救命処置の質の改善を

AEDなどの除細動器に蓄積されたデータを用いてデブリーフィングをおこなうことで、デブリーフィング実施前よりもROSC率や生存退院率が改善した報告があります。^{1,2}

ガイドラインにおいては、JRC蘇生ガイドライン2010の中で「ブリーフィングとデブリーフィングをおこなうことは理にかなっている」とされ、同ガイドライン2015の「普及・教育のための方策」の中では、「院内/外における救命処置終了後に、救助者に対し、データに基づいて、救命処置の質に焦点を当てたデブリーフィングをおこなうこと」が推奨/提案されています。^{3,4}

- 1) Improving in-hospital cardiac arrest process and outcomes with performance debriefing. Arch Intern Med. 2008 May 26;168(10):1063-9.
- 2) Interdisciplinary ICU cardiac arrest debriefing improves survival outcomes. Crit Care Med. 2014 Jul;42(7):1688-95.
- 3) JRC 蘇生ガイドライン2010
- 4) JRC 蘇生ガイドライン2015

➡ CODE-STAT™ 11 データレビューソフトウェアの特長

- 1** ライフバックシリーズ除細動器に取り込んだデータから、連続心電図波形やSpO2, EtCO2等のバイタルサイン情報を取り出して表示する機能に加え、CPRの実施状況に関わる統計情報も表示することが出来るので、デブリーフィングや症例検討会などに活用できます。
- 2** ライフバックシリーズ除細動器が電極パッドを通じて取り込んだ胸郭インピーダンス情報を元に、胸骨圧迫や換気のポイントを自動認識。CPR統計情報としてレポートを生成します。特別なセンサなどは必要ありません。勿論、過去に取り込んだデータも解析できます。
- 3** CODE-STAT11が出力する様々な症例レポート、連続波形レポートやCPR統計レポートはPDF出力も可能。専用のソフトウェアが無い環境でのレビューにも便利です。症例データは外部にエクスポートし、メールなどで送ることもできるので、例えば分署の救急活動結果を消防本部やメディカルコントロール(MC)の場で再生して検討することも可能です。

➡ レポート機能

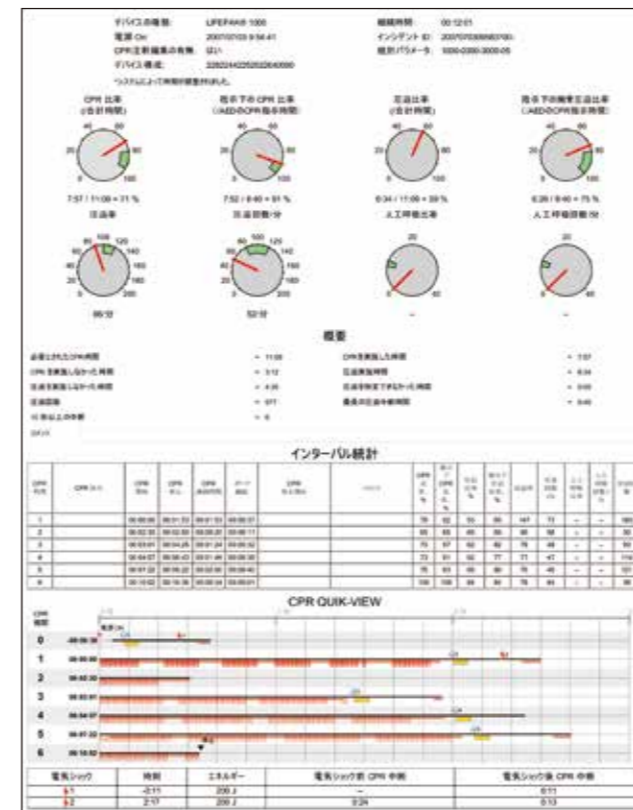


■ 連続波形表示画面

連続心電図波形と同時に、解析や通電、CPR実施など各種イベントのリストを表示。リストの任意の場所から、それらのイベント発生時点の波形をワンタッチで表示する事が出来るので、処置の流れなどを後から振り返るのに便利です。又、各種アノテーションなどの追記も自由に行えます。

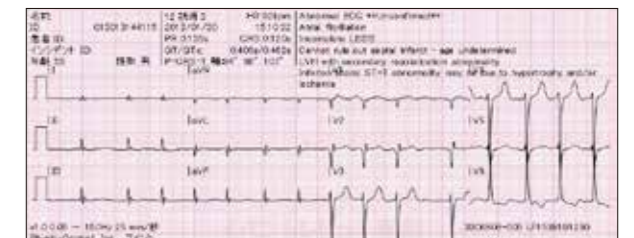


CODE-STAT 11では、LUCAS 3 v3.1内の使用データをLIFEPAK シリーズ除細動器の内部データに統合できるようになりました。電極パッドから得る胸郭インピーダンスデータにLUCASが行なった胸骨圧迫の情報が追加され、事後検証のレビューが更に行ない易くなります。



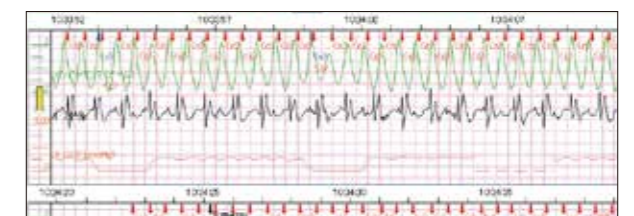
■ CPRレポート表示画面

直観的に理解しやすいCPRの統計結果を一覧するダッシュボードや、救急活動全体を俯瞰できる「CPRクイックビュー」など、CPR関連のレポートを、画面を切り替えながら簡単に見ることが出来ます。



■ 12誘導解析結果表示

LIFEPAK15やLIFEPAK12などで12誘導解析をおこなった際の解析結果もCODE-STAT11で表示可能です。イベントに表示される「12誘導」の項目を選択すると解析結果と共に簡単に表示されます。



■ マルチパラメータ波形

ライフバックシリーズ除細動器で取り込んだ波形情報は、心電図と共にすべて重ねて表示可能。各種イベントやアノテーション情報と共に、バイタルサイン情報の時間推移も確認出来ます。また、胸郭インピーダンス波形の解析から、胸骨圧迫点や換気状況(機種によっては対応出来ない場合が有ります)を波形に重畳して表示することも可能です。